

2014年度中間決算説明

2014年4月～9月



日本コンクリート工業株式会社
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

親杭パネル(岩手県崎山外道災害復旧工事)

目次

■ 2014年度中間期業績概要

- ◆ 2014年度上半期トピックス…………… P 1
- ◆ 中間連結業績要約 …………… P 2
- ◆ 中間連結主要経営指標 …………… P 3
- ◆ 四半期別 売上高・経常利益 …………… P 4
- ◆ 中間連結セグメント別売上高・損益 …………… P 5
- ◆ セグメント別事業概要 …………… P 6
- ◆ 連結セグメント別売上高推移 …………… P 8
- ◆ 中間連結貸借対照表概要 …………… P 9
- ◆ 中間連結損益計算書概要 …………… P10
- ◆ 中間連結キャッシュ・フロー(CF)概要 …………… P11

■ 参考資料

- ◆ パイル需要推移(全国) …………… P22
- ◆ パイル全国生産・出荷実績及びシェア(2014年度上半期) …… P23
- ◆ ポール需要推移(全国) …………… P24
- ◆ ポール全国生産・出荷実績及びシェア(2014年度上半期) …… P25
- ◆ 13年度・14年度上半期地域別パイル需要(全国) …… P26
- ◆ 株価・出来高の推移 …………… P27

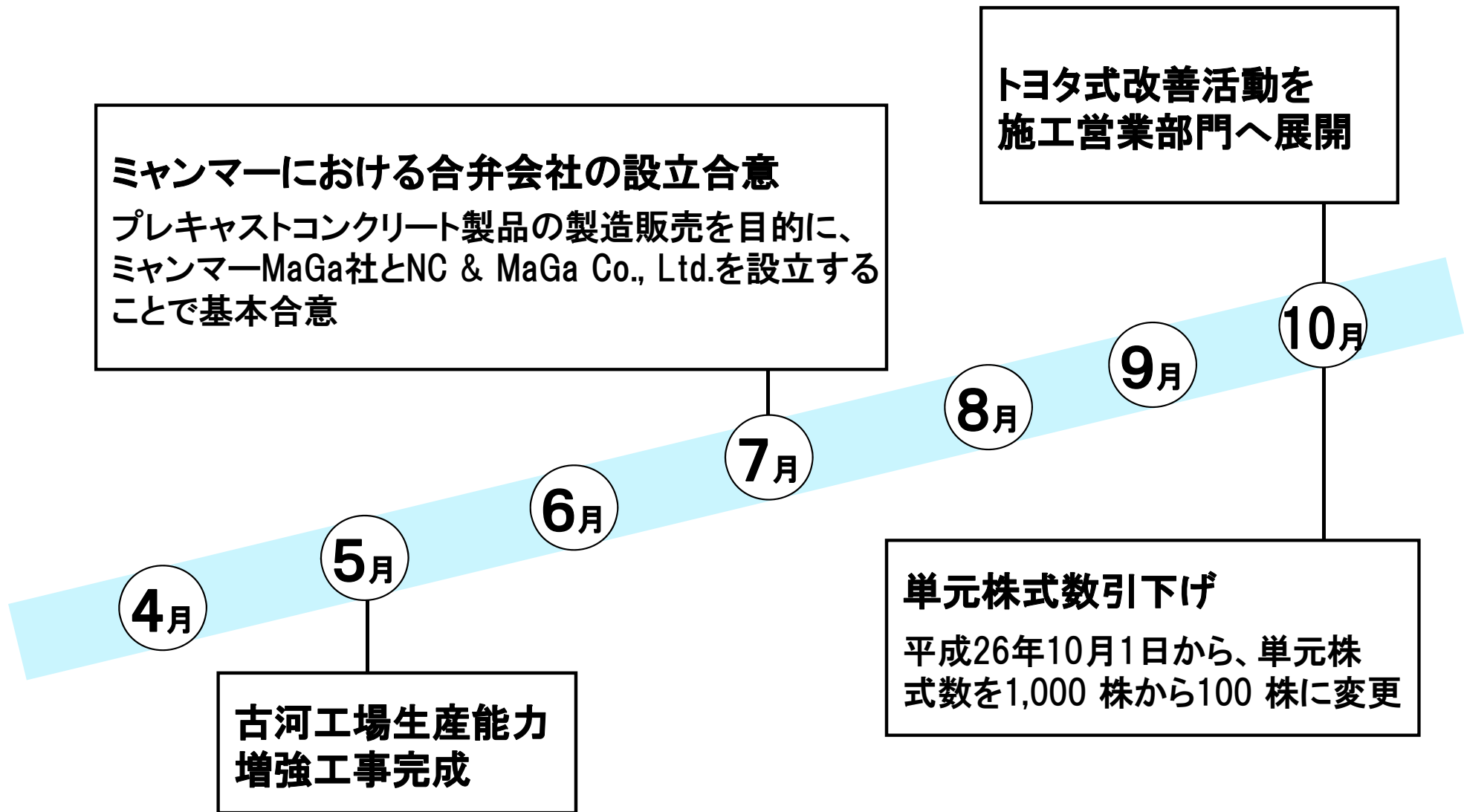
■ 経営指標・業績予測

- ◆ 営業利益率/経常利益率の推移 …………… P12
- ◆ 設備投資/減価償却費の推移 …………… P13
- ◆ 社債・借入金残高の推移…………… P14
- ◆ 配当及び自己株式の取得状況 …………… P15
- ◆ 連結売上高/経常利益/純利益の推移…………… P16
- ◆ 2013年中期経営計画(位置付け・中期経営方針) …… P17
- ◆ 2013年中期経営計画(目標経営指標) …………… P18
- ◆ 2013年中期経営計画(重点実施策) …………… P19
- ◆ 2014年度下期の通し…………… P20
- ◆ 2014年度業績予想 …………… P21

■ 会社基本情報

- ◆ 会社概要 …………… P28
- ◆ 経営理念 …………… P29
- ◆ 事業内容 …………… P30
- ◆ 生産・営業拠点 …………… P31

2014年度上半期トピックス



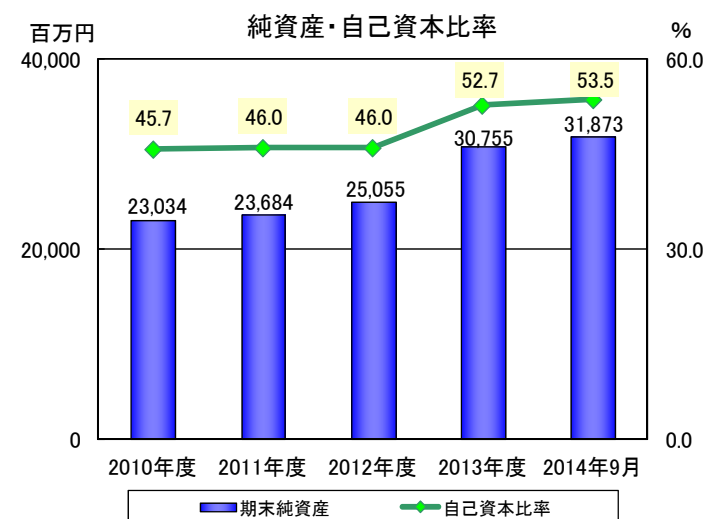
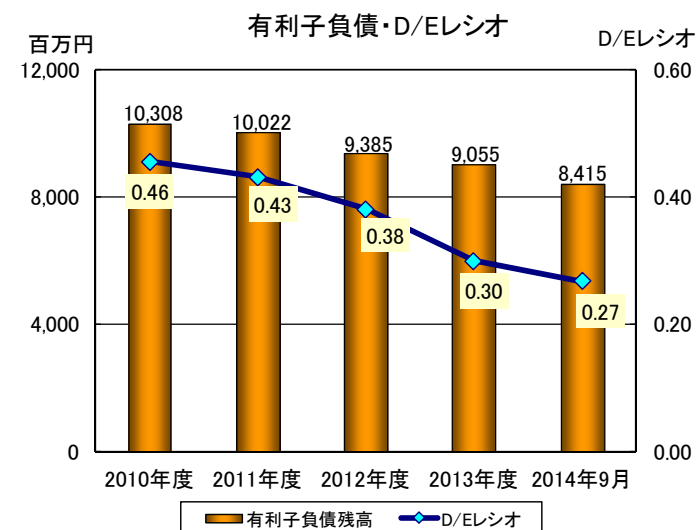
中間連結業績要約

(単位:百万円)

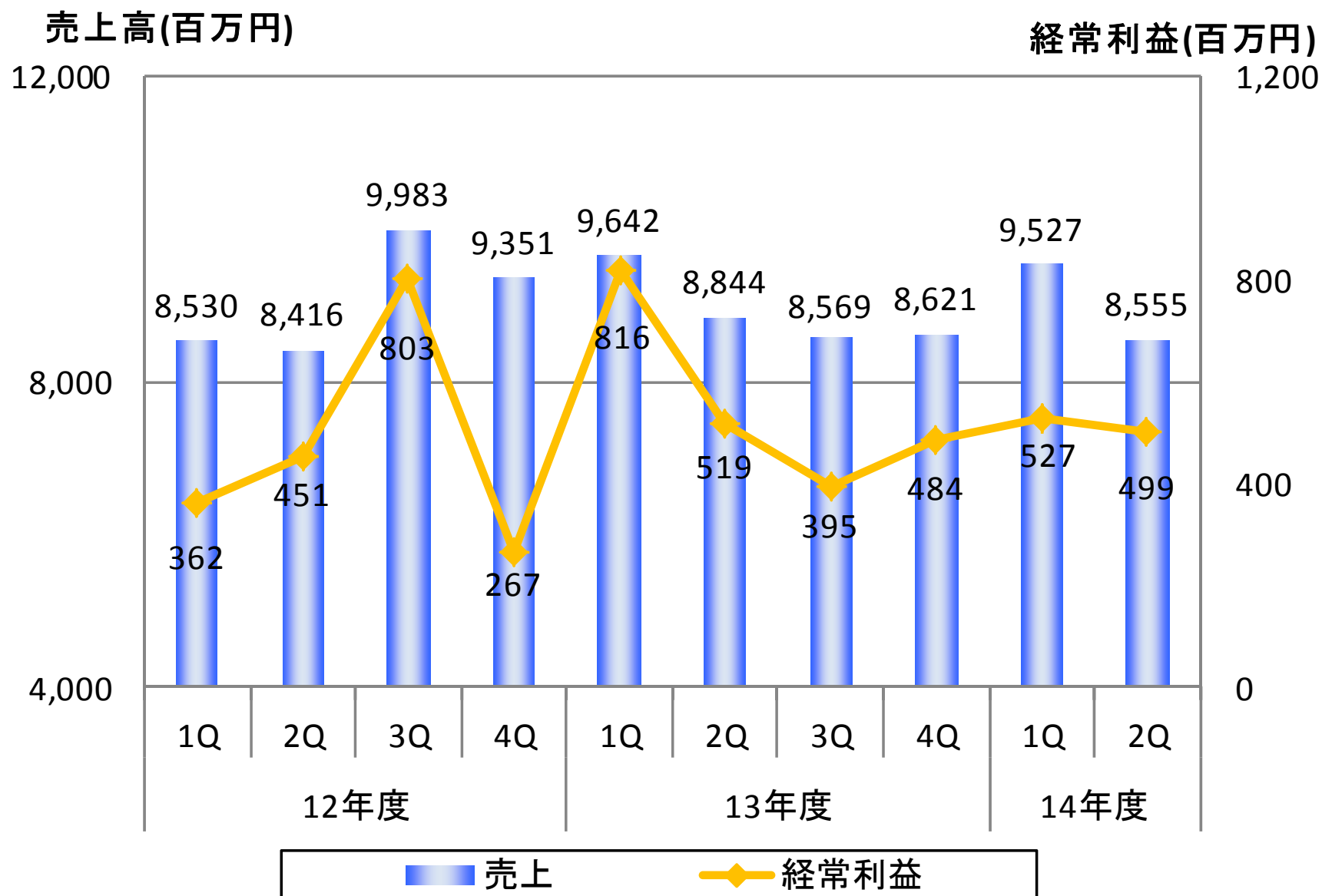
	前中間期	当中間期	増減		公表値
	実績 (A)	実績 (B)	前期比 (B)-(A)=(C)	増減率 (C)/(A)	2014年 5月15日
売上高	18,486	18,082	△ 403	△ 2.2%	18,000
営業利益	1,118	839	△ 279	△ 25.0%	800
経常利益	1,335	1,026	△ 308	△ 23.1%	950
当期純利益	862	597	△ 264	△ 30.7%	700

中間連結主要経営指標

	前中間期	当中間期
自己資本当期純利益率(ROE)	3.4 %	1.9 %
総資産経常利益率(ROA)	2.5 %	1.7 %
営業利益率	6.1 %	4.6 %
D/E レシオ	0.36	0.27
自己資本比率	48.3 %	53.5 %
有利子負債残高	9,164 百万円	8,414 百万円
期末総資産	53,092 百万円	58,688 百万円
従業員数	812 人	830 人



四半期別 売上高・経常利益



中間連結セグメント別売上高・損益

売上高

(単位:百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	増減率
	(A)	(B)	(B)-(A)=(C)	(C)/(A)
基礎事業	8,668	10,588	1,920	22.1%
コンクリート二次製品事業	9,817	7,494	△ 2,323	△ 23.7%
計	18,486	18,082	△ 403	△ 2.2%

セグメント損益

	前中間期	当中間期	増減額	増減率
	(A)	(B)	(B)-(A)=(C)	(C)/(A)
基礎事業	63	791	728	1153.4%
コンクリート二次製品事業	1,737	743	△ 993	△ 57.2%
調整額	△ 682	△ 696	△ 13	-
計	1,118	839	△ 279	△ 25.0%

セグメント別事業概況 ～ 基礎事業 ～

(単位:百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	増減率
	(A)	(B)	(B)-(A)=(C)	(C)/(A)
売上高	8,668	10,588	1,920	22.1%
営業利益	63	791	728	1153.4%

需要動向

全国全社需要 1,421千t(対前年比89.0%)

当社 120千t(対前年比92.5%)

(シェア) 8.4%(対前年比+0.3%)

- ・ インドネシア向け杭打機輸出4億円
- ・ 5月 古河工場生産能力増強工事完了
- ・ 豊洲新市場8月着工(11月完工予定)

セグメント別事業概況 ～ 二次製品事業 ～

(単位:百万円)

	前中間期	当中間期	増減額	増減率
	(A)	(B)	(B)-(A)=(C)	(C)/(A)
売上高	9,817	7,494	△ 2,323	△ 23.7%
営業利益	1,737	743	△ 993	△ 57.2%

ポール

全国全社需要 348千t(対前年比89.4%)

当社 104千t(対前年比82.6%)

(シェア) 29.9%(対前年比-2.5%)

電力向けは堅調、通信向けは東地区で低迷、西地区は好調に推移

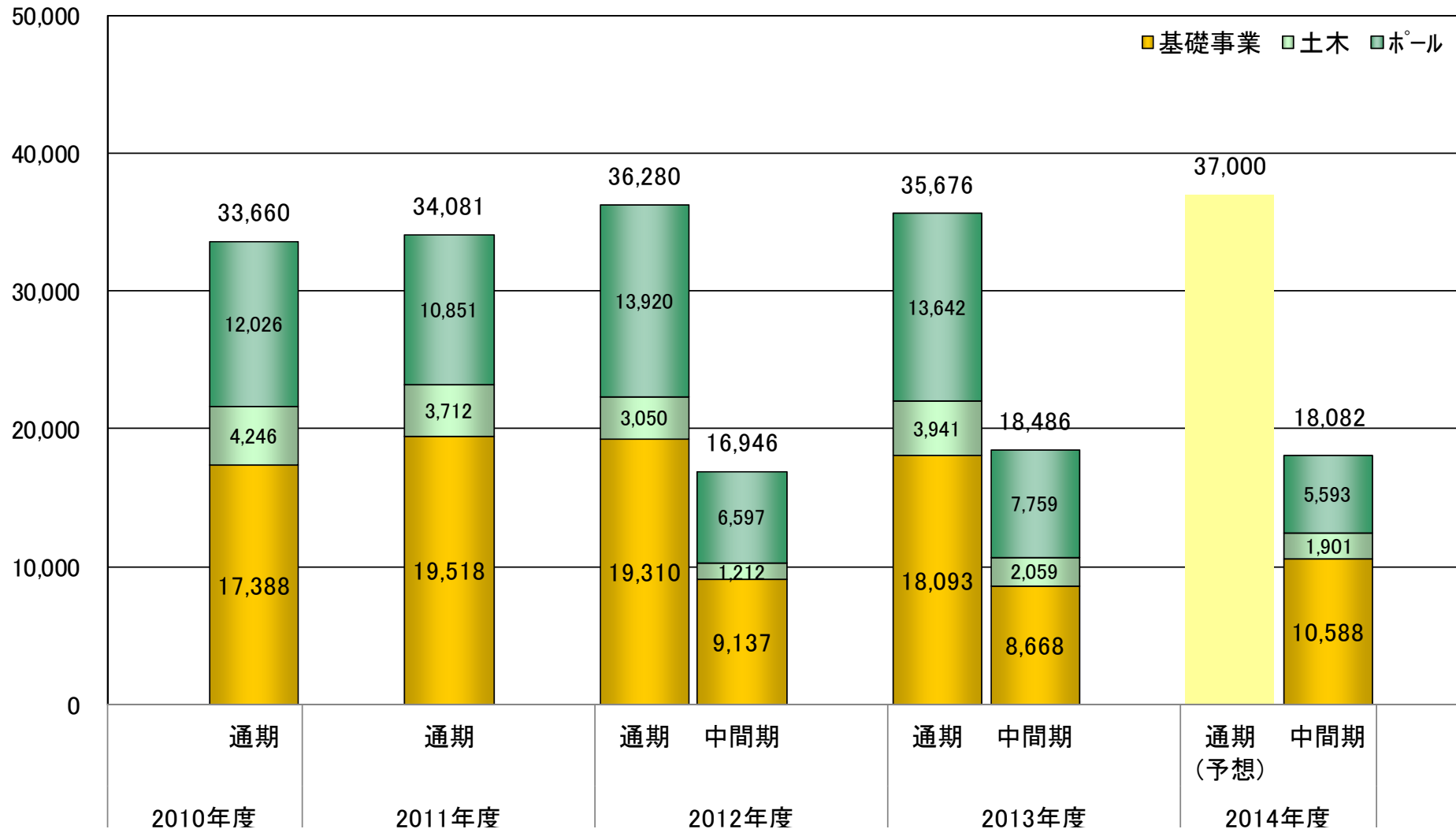
土木製品

PC-壁体は順調に推移

セグメントは低調

連結セグメント別売上高推移

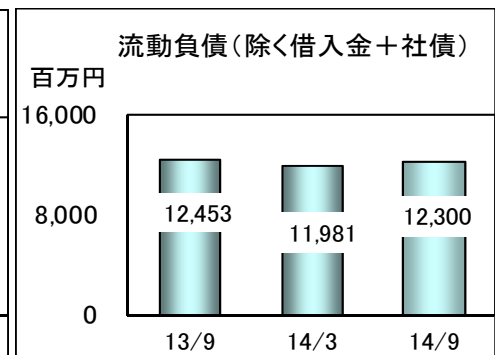
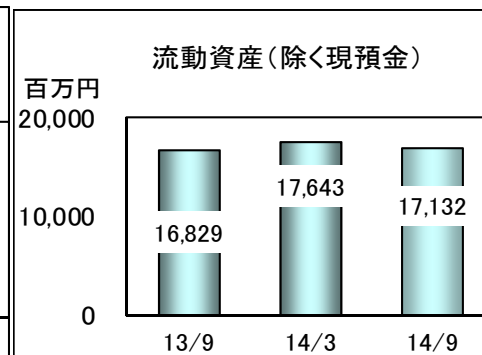
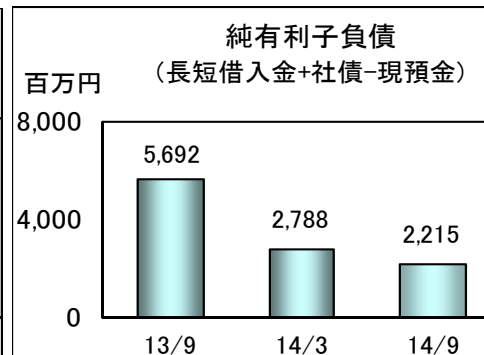
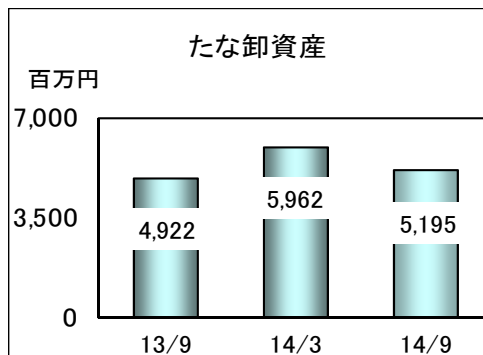
百万円



中間連結貸借対照表概要

(単位:百万円)

科目	前期末	当中間期末	増減額	科目	前期末	当中間期末	増減額
	(A)	(B)	(B)-(A)		(A)	(B)	(B)-(A)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	23,368	22,797	△ 571	流動負債	16,239	16,356	116
現金・預金	5,725	5,664	△ 60	仕入債務	9,048	8,776	△ 271
受取手形・売掛金	10,067	9,827	△ 240	短期借入金(含む1年内)	4,258	4,056	△ 202
たな卸資産	5,962	5,195	△ 767	その他	2,933	3,523	590
その他	1,612	2,109	496	固定負債	10,549	10,458	△ 90
固定資産	34,176	35,891	1,715	社債	680	575	△ 105
有形固定資産	20,154	20,709	555	長期借入金	3,575	3,249	△ 326
無形固定資産	97	80	△ 17	その他	6,293	6,634	340
投資その他の資産	13,923	15,101	1,177	負債合計	26,789	26,814	25
				(純資産の部)			
				株主資本	22,452	22,801	349
				その他の包括利益累計額	7,858	8,624	766
				少数株主持分	444	447	2
				純資産合計	30,755	31,873	1,118
資産合計	57,544	58,688	1,144	負債純資産合計	57,544	58,688	1,144



中間連結損益計算書概要

(単位:百万円)

	前中間期		当中間期		増減額 (B)-(A)=(C)	増減率 (C)/(A)
	(A)		(B)			
売上高	18,486	100.0%	18,082	100.0%	△403	△2.2%
売上原価	15,444	83.5%	15,169	83.9%	△275	△1.8%
売上総利益	3,041	16.5%	2,913	16.0%	△128	△4.2%
販売費及び一般管理費	1,923	10.4%	2,074	11.5%	151	7.9%
営業利益	1,118	6.0%	839	4.6%	△279	△25.0%
営業外損益	216	1.2%	187	1.0%	△29	△13.4%
経常利益	1,335	7.2%	1,026	5.7%	△308	△23.1%
特別損益	5	0.0%	△1	△0.0%	△6	-
税金等調整前四半期純利益	1,340	7.1%	1,025	5.7%	△314	△23.5%
法人税、住民税及び事業税	459	2.4%	388	2.0%	△71	△15.5%
法人税等調整額	9	0.0%	36	0.2%	26	282.1%
少数株主損益調整前四半期純利益	871	4.7%	600	3.2%	△270	△31.0%
少数株主利益	8	0.0%	3	0.0%	△5	△61.8%
四半期純利益	862	4.7%	597	3.3%	△264	△30.7%

■営業外損益の主な項目

(単位:百万円)

		前中間期		当中間期		増減
収益	受取利息及び配当金	71		88		
	持分法による投資利益	100		96		△4
	受取賃貸料	110		97		△13
費用	支払利息	55		45		△10
	減価償却費	35		27		△8

■特別損益の主な項目

(単位:百万円)

		前中間期		当中間期		増減
利益	固定資産売却益	-		1		
	投資有価証券売却益	10		-		△10
損失	固定資産売却損	1		-		△1
	固定資産除却損	4		2		△1

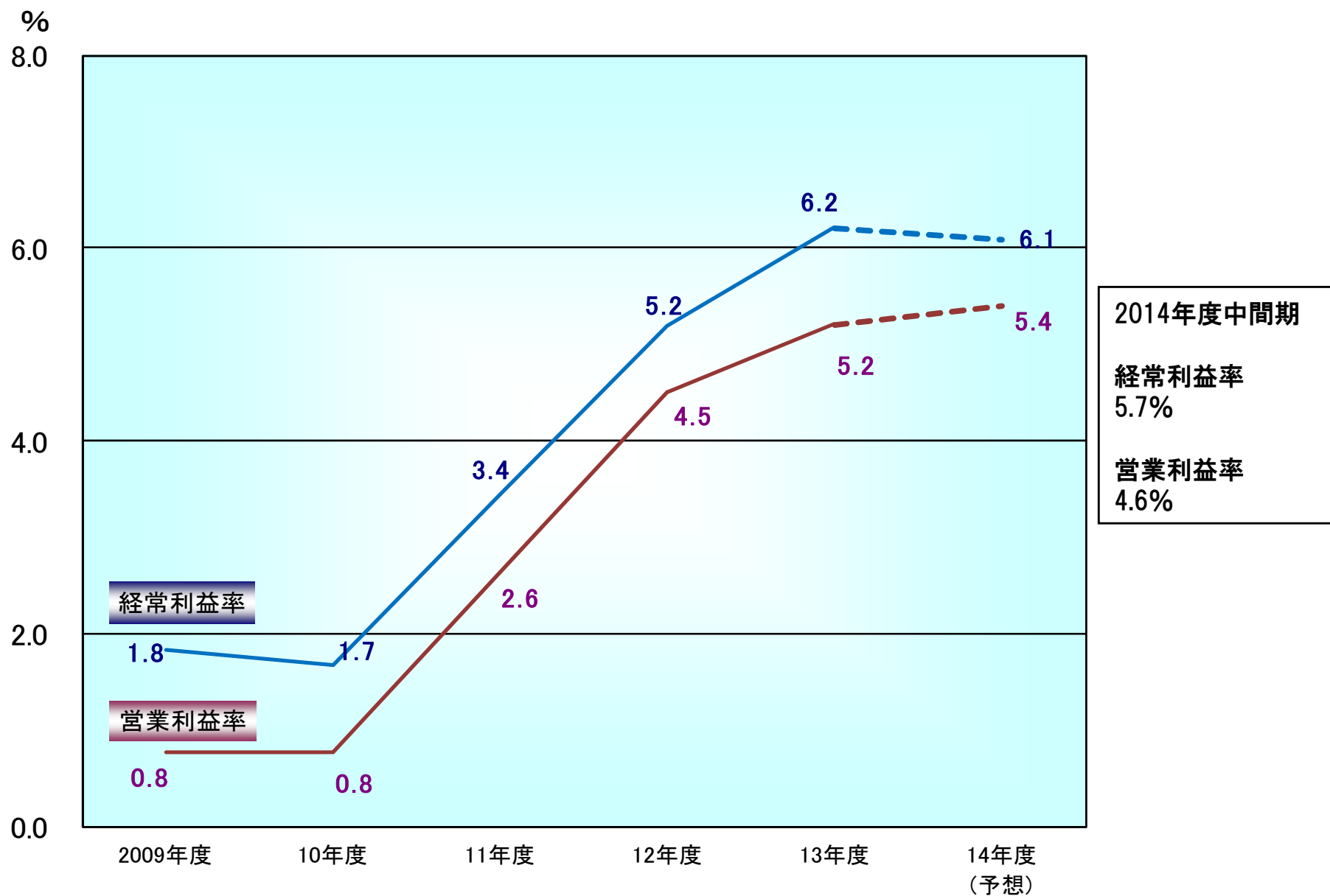
中間連結キャッシュ・フロー(CF)概要

(単位:百万円)

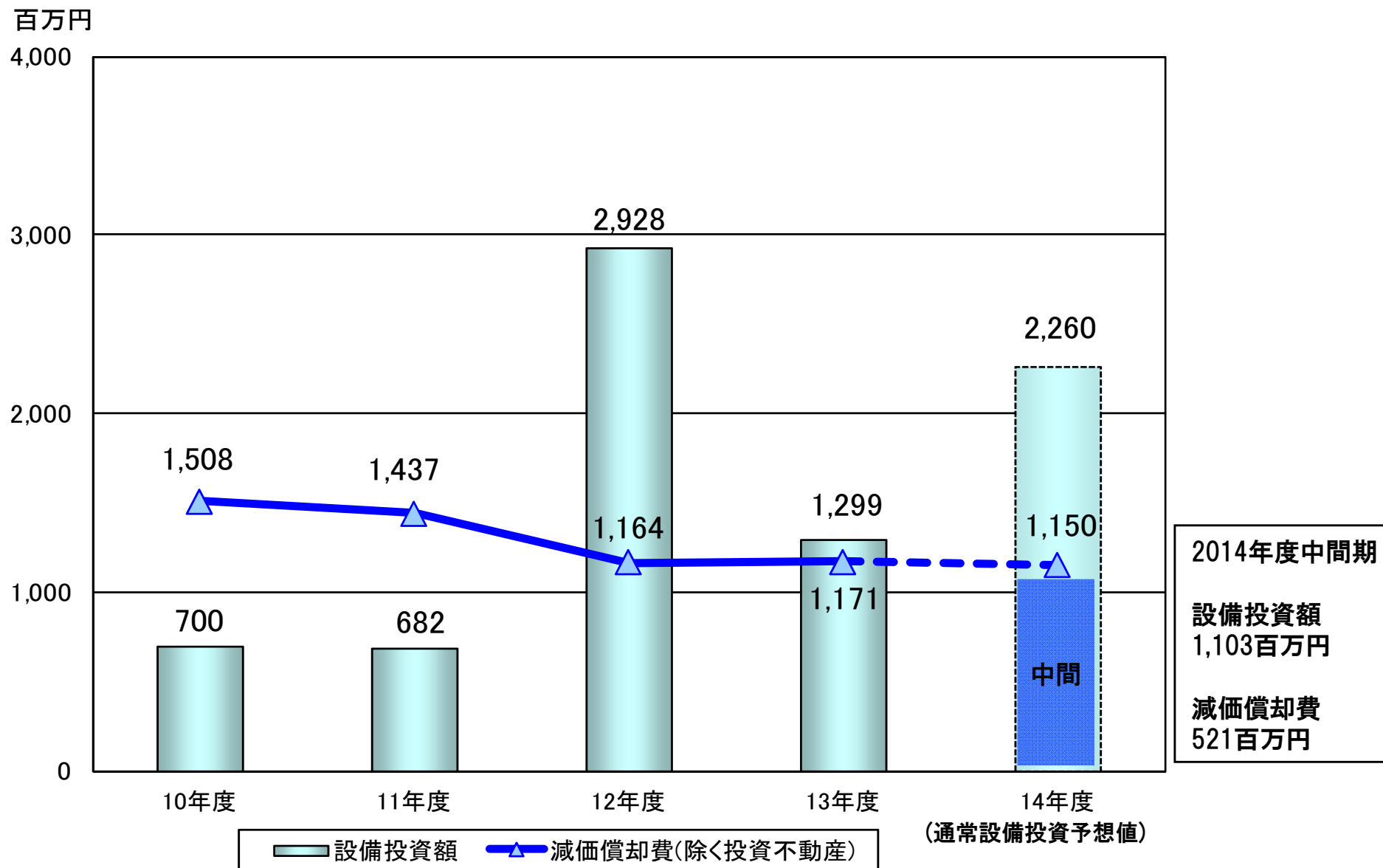
		前中間期	当中間期	増減額
		(A)	(B)	(B)-(A)
営業活動によるCF	税金等調整前四半期純利益	1,340	1,025	△ 314
	減価償却費	564	540	△ 23
	売上債権の増減額(△は増加)	1,472	△ 274	△ 1,747
	たな卸資産の増減額(△は増加)	247	767	520
	仕入債務の増減額(△は減少)	△ 759	△ 271	487
	その他	△ 1,355	△ 487	867
	計	1,509	1,298	△ 211
投資活動によるCF		△ 379	△ 550	△ 171
財務活動によるCF		△ 358	△ 808	△ 450
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		772	△ 60	△ 832
現金及び現金同等物の期首残高		2,147	5,725	3,577
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		37	-	△ 37
現金及び現金同等物の四半期末残高		2,957	5,664	2,707
フリー・キャッシュ・フロー*1		1,130	748	△ 382

*1 フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

営業利益率/経常利益率の推移

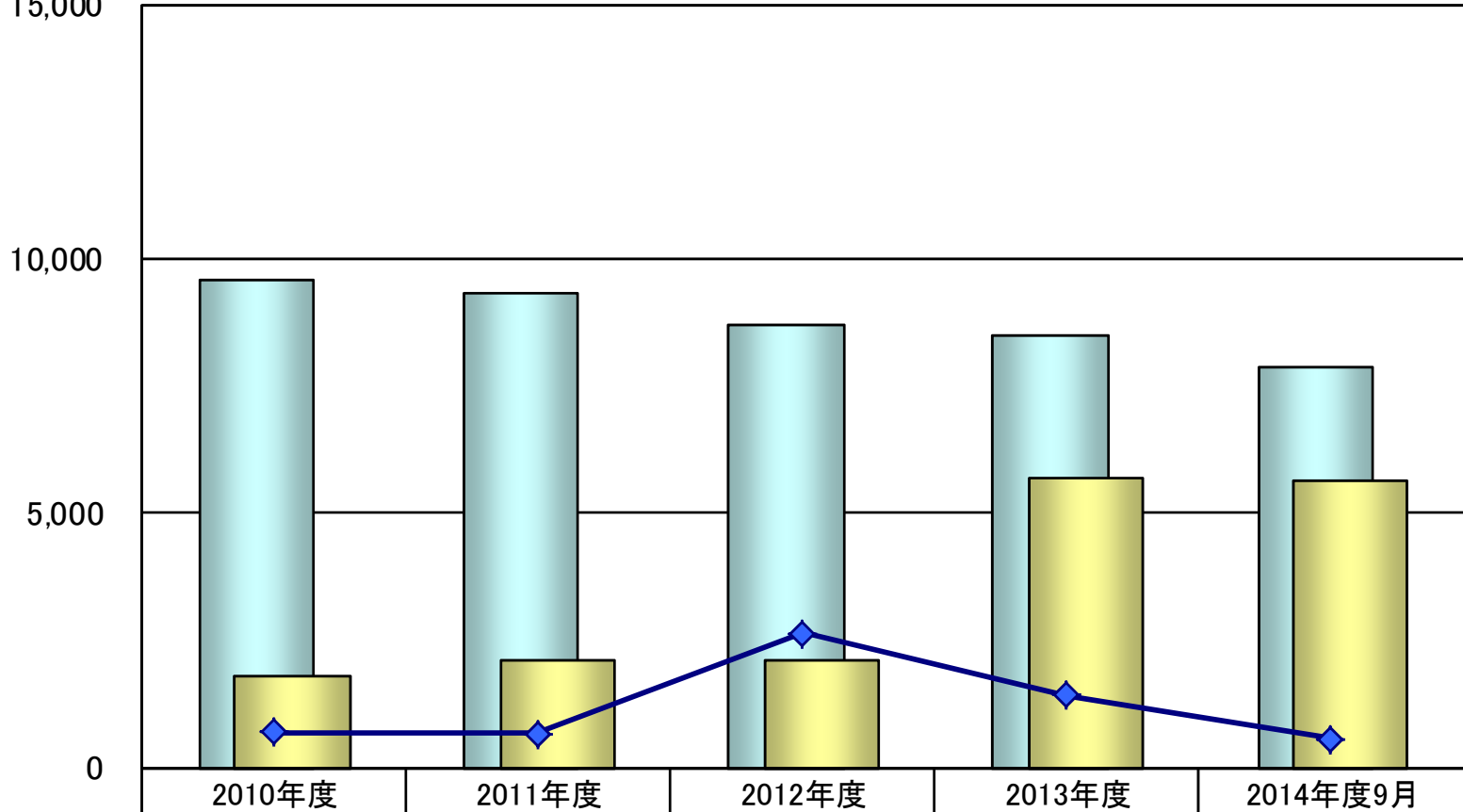


設備投資/減価償却費の推移



社債・借入金残高の推移

百万円
15,000



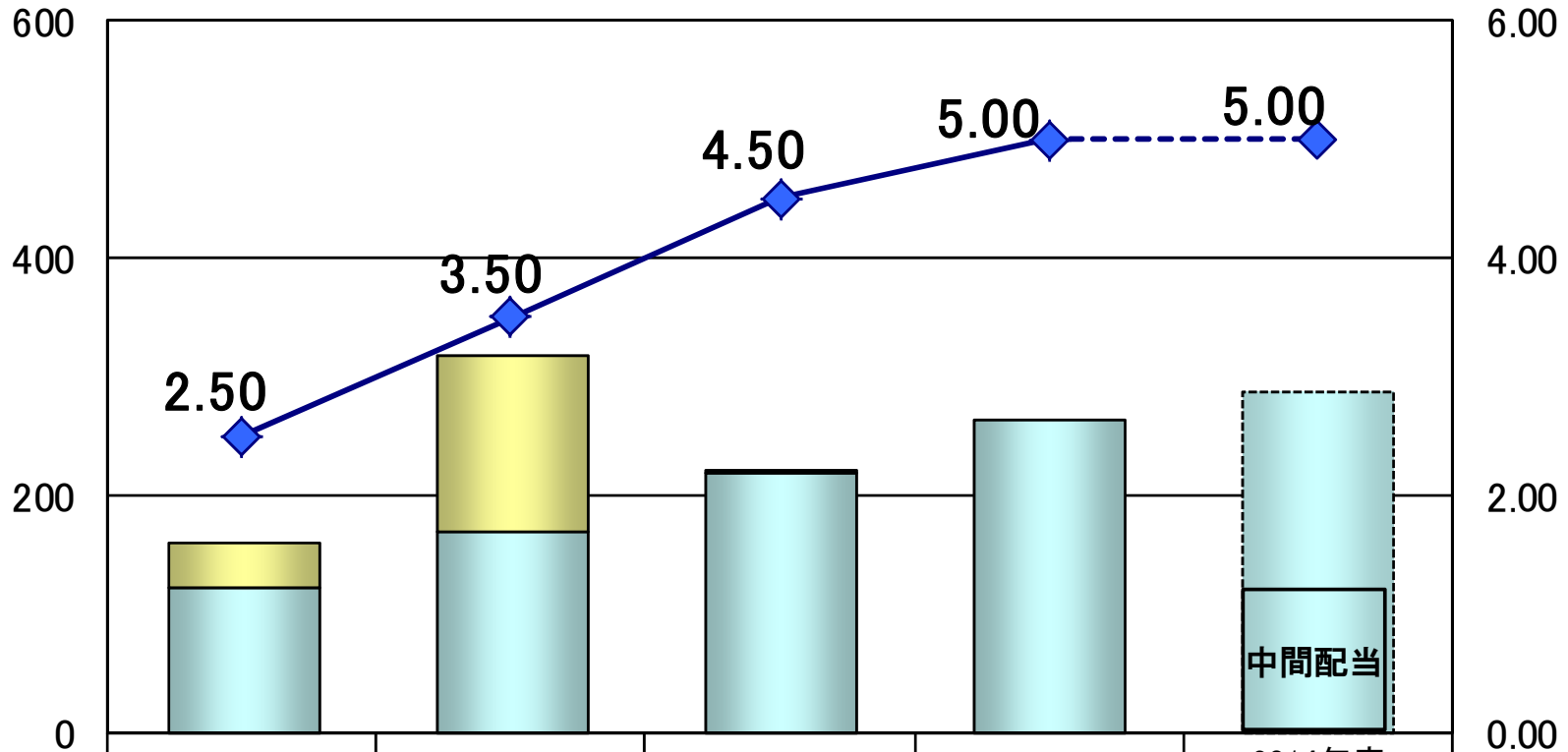
	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度9月
社債・借入金	9,598	9,369	8,747	8,514	7,880
現預金残高	1,834	2,130	2,147	5,725	5,664
有形固定資産取得(CF)	702	669	2,625	1,418	551

社債・借入金
 現預金残高
 有形固定資産取得(CF)

配当及び自己株式の取得状況

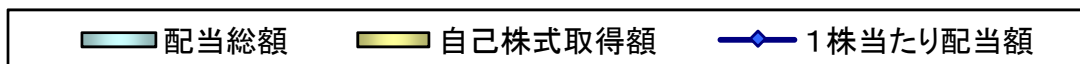
配当総額(百万円)

1株配当(円)

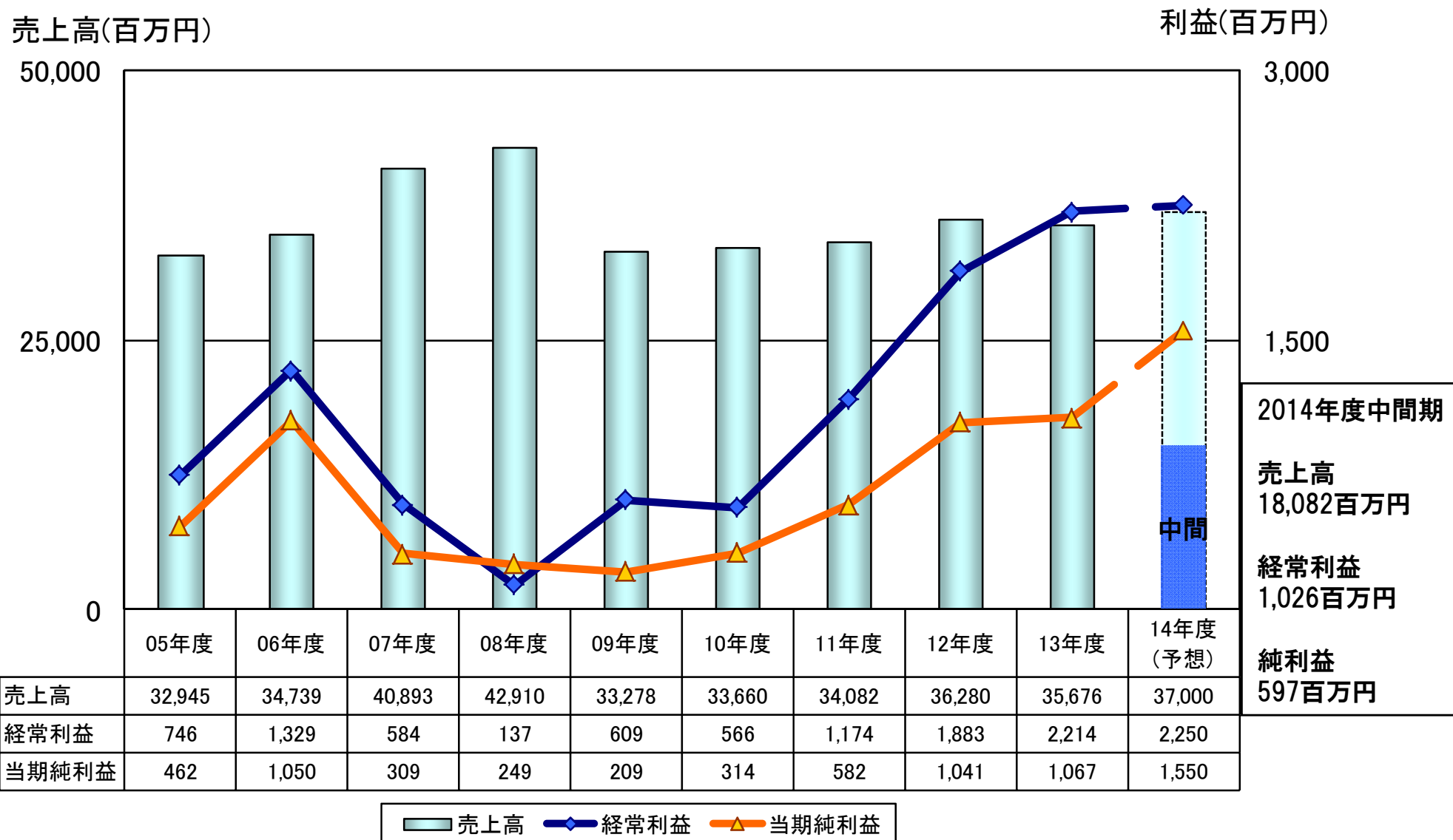


	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度 (予定)
自己株式取得額	39.0	149	0.6	-	-
配当総額	123	170	219	266	288
1株当たり配当額	2.50	3.50	4.50	5.00	5.00

2014年度中間期
 配当総額
 144百万円
 1株当たり配当額
 2.50円



連結売上高/経常利益/純利益の推移



2013年中期経営計画

(2013年度～2014年度)

位置付け

- ・ 前中経(2010年中期経営計画)の業績目標達成により、基本方針を継承・発展させる
- ・ 経営環境の変化にスピード感をもって対応するため、2か年計画とする
- ・ 創業65年目を新たな創業期と捉え、経営理念を改定しグループ経営の深耕を図る

中期経営方針

新たな企業基盤の確立による成長の持続

- ・ コア事業において安定した収益基盤を構築する
- ・ 新規事業、海外事業を推進し新たな成長を目指す

2013年中期経営計画

目標経営指標

	2013年度 実績	2014年度 計画
売上高	356.7億円	400億円
経常利益 (経常利益率)	22.1億円 6.2%	19億円 4.8%
総資産経常利益率 (ROA)	4.0%	3.5%
配当金	5.0円	5.0円
投資額	13億円	50億円～60億円(注)

(注)2013年度～2014年度の2年間の総額で内訳は、

- ・通常投資額20億円(10億円/年×2年)
- ・プロジェクト投資額30億円～40億円

2013年中期経営計画

重点実施策

(コア事業の強化)

- ①コンクリートポール・パイルやPC壁体、RCセグメント等の主力製品において、生産性の向上や徹底したコスト削減により、競争力の向上を図る
- ②製品・工法の品揃えの充実を図る
- ③施工部門、代理店との連携を強化し、既存顧客の囲い込みと新規顧客の獲得を図る

(新規事業の推進)

「環境事業」「ポアセル事業」「不動産事業」

- ①長年培った技術力、ノウハウを活かす
- ②新たなビジネスモデルを構築
- ③経営資源の有効活用を図る

(海外事業の展開)

アジア新興諸国の経済発展によるインフラ需要の拡大を、新たなビジネスチャンスと捉え、組織体制を整備し、技術・資本輸出等を積極的に展開することにより、需要の取り込みを図る

2014年度下期の見通し

＜基礎事業＞

- 収益改善効果は定着
- 大型受注工事の遅延 → 売上の確保に注力

＜ポール事業＞

- 上期の傾向が継続、工場稼働は正常化へ

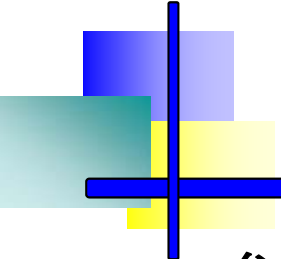
＜土木製品事業＞

- 受注工事の遅延により、売上・生産低迷
- 東京外環道RCセグメントは受注確定に向け活動中
→ その他大型セグメント案件の受注に注力

2014年度業績予想

(単位:百万円)

	2013年度		2014年度(11/13公表値)				通期比	
	前期実績		中間期(実績)		通期(予想)		増減額	増減率
売上高	35,676	100.0%	18,082	100.0%	37,000	100.0%	1,323	3.7%
営業利益	1,856	5.2%	839	4.6%	2,000	5.4%	143	7.7%
経常利益	2,214	6.2%	1,026	5.7%	2,250	6.1%	35	1.6%
当期純利益	1,067	3.0%	597	3.3%	1,550	4.2%	482	45.2%
配当(円)	5.00	-	2.50	-	5.00	-	0.00	0.0%



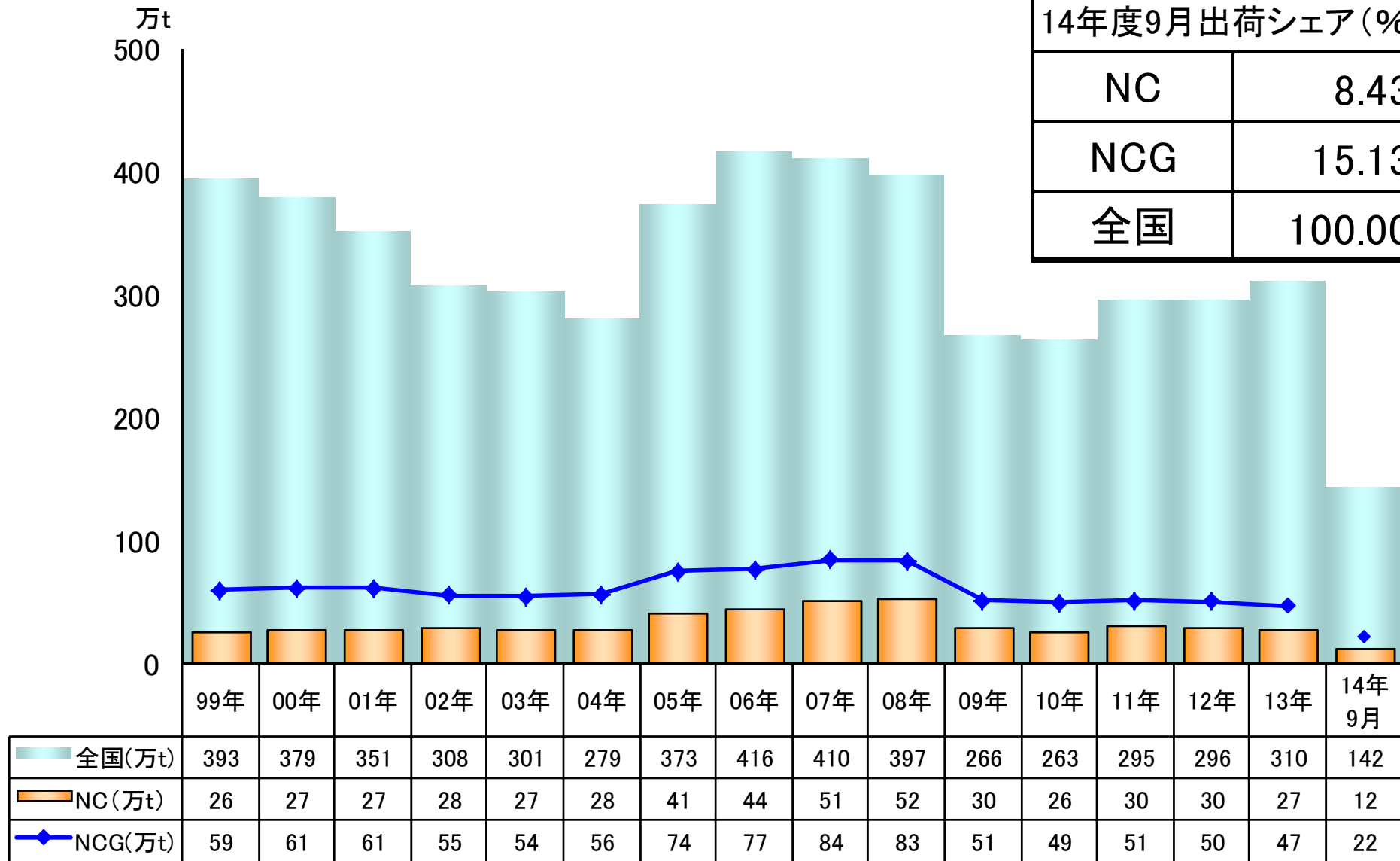
参 考 資 料

参考資料

- ◆パイル需要推移(全国) P22
- ◆パイル全国生産・出荷実績及びシェア(2014年度上半期) P23
- ◆ポール需要推移(全国) P24
- ◆ポール全国生産・出荷実績及びシェア(2014年度上半期) P25
- ◆13年度・14年度上半期地域別パイル需要(全国) P26

パイル需要推移 (全国)

14年度9月出荷シェア(%)	
NC	8.43%
NCG	15.13%
全国	100.00%



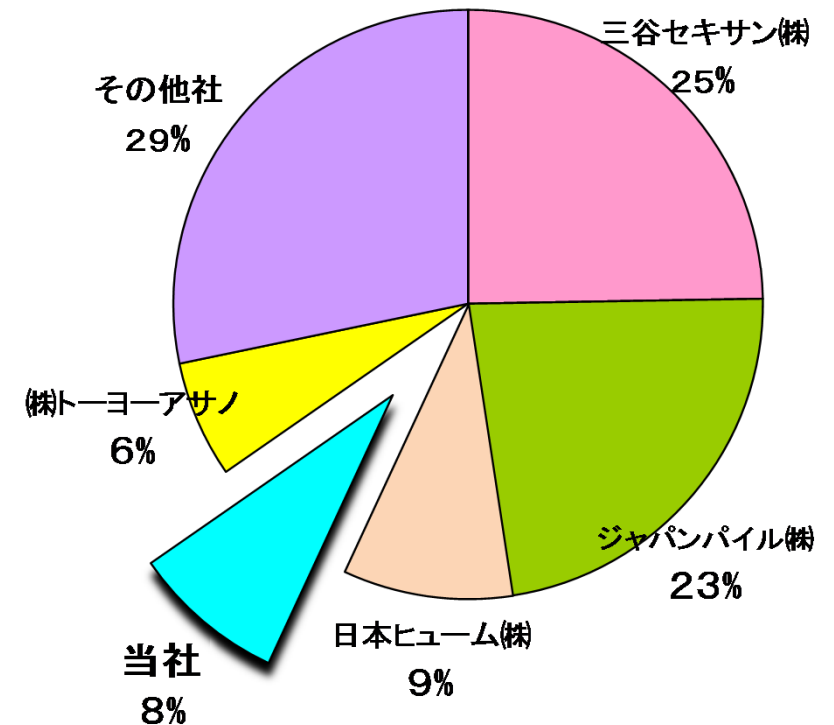
(社)コンクリートホールパイル協会資料による

パイル全国生産・出荷実績及びシェア

	会社名	生産量 (ton)	出荷量 (ton)	シェア			
				生産 シェア	前年 同期比	出荷 シェア	前年 同期比
1	三谷セキサン(株)	354,626	351,435	25.31%	↗	24.73%	↗
2	ジャパンパイル(株)	292,636	324,862	20.88%	→	22.86%	→
3	日本ヒューム(株)	134,824	132,482	9.62%	→	9.32%	↗
4	日本コンクリート工業(株)	123,604	119,830	8.82%	→	8.43%	↗
5	(株)トヨーアサノ	98,194	90,850	7.01%	↗	6.39%	↗
6	日本高圧コンクリート(株)	56,794	53,579	4.05%	→	3.77%	→
7	前田ホールディングス(株)	42,414	45,690	3.03%	→	3.22%	→
8	マナック(株)	42,983	40,687	3.07%	↗	2.86%	→
9	藤村ヒューム管(株)	32,480	31,989	2.32%	↗	2.25%	→
10	ホクコンマテリアル(株)	26,047	27,001	1.86%	↗	1.90%	↗
その他	34社	196,707	202,556	14.04%		14.25%	
計(44社)		1,401,309	1,420,961	100.00%		100.00%	

(2014年度上半期)

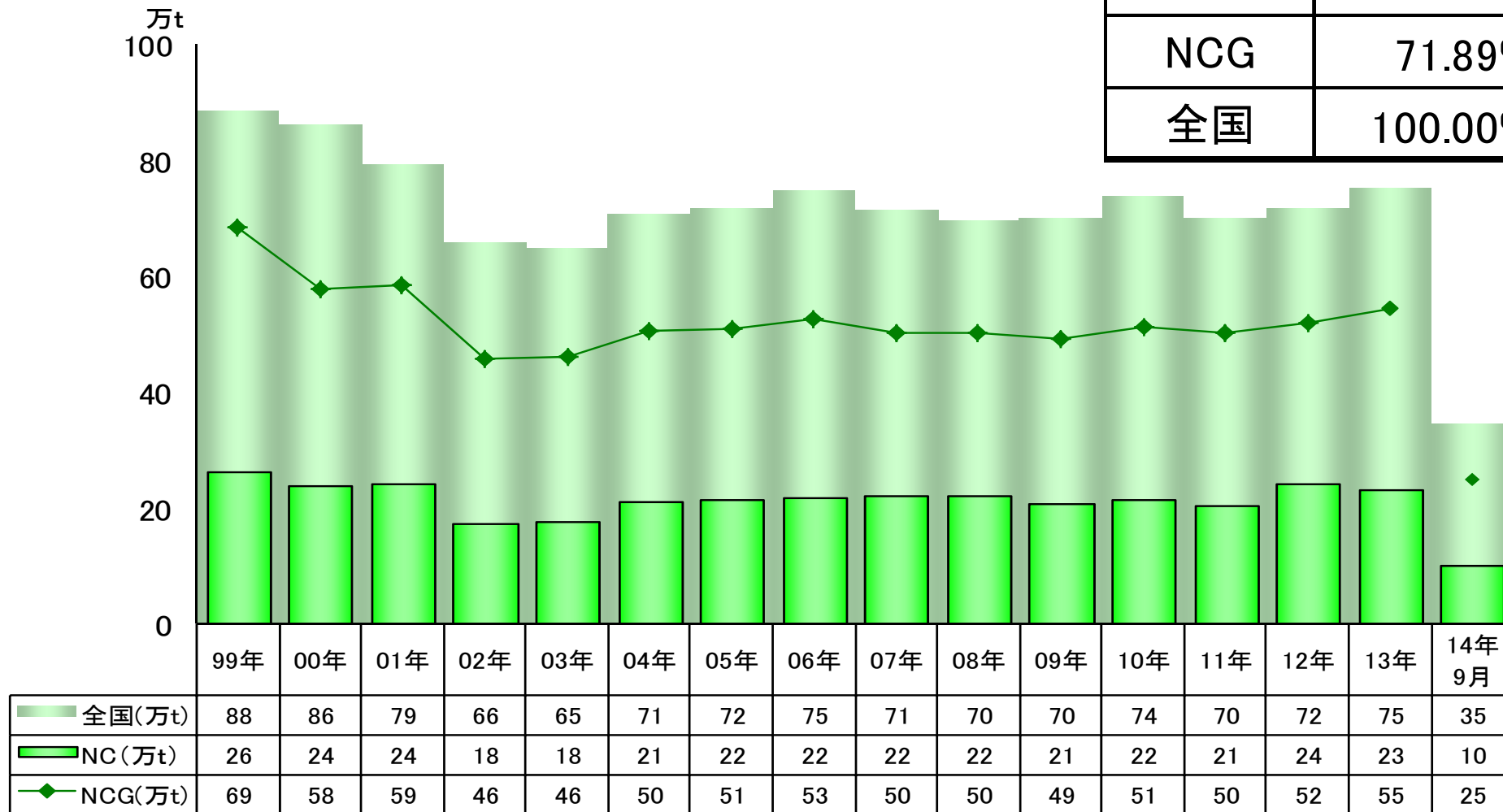
パイル出荷シェア



注) 1.前年同期比の→はシェアの変化が-0.3%~+0.3%
2.(社)コンクリートポール・パイル協会資料による。

ポール需要推移 (全国)

14年度9月出荷シェア(%)	
NC	29.87%
NCG	71.89%
全国	100.00%



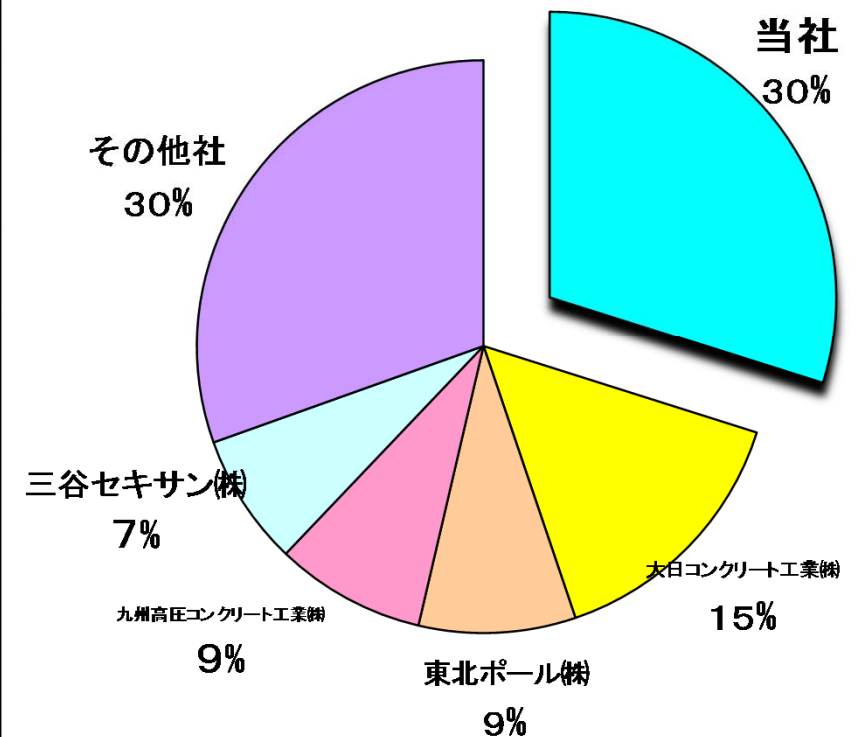
(社)コンクリートポール・パイル協会資料による

ポール全国生産・出荷実績及びシェア

	会社名	生産量 (ton)	出荷量 (ton)	シェア			
				生産 シェア	前年 同期比	出荷 シェア	前年 同期比
1*	日本コンクリート工業(株)	100,250	103,884	28.22%	↘	29.87%	↘
2	大日コンクリート工業(株)	51,857	51,905	14.60%	↘	14.93%	→
3*	東北ポール(株)	32,403	30,765	9.12%	↗	8.85%	↗
4*	九州高圧コンクリート工業(株)	28,769	29,459	8.10%	↗	8.47%	↗
5	三谷セキサン(株)	25,427	25,839	7.16%	↘	7.43%	↗
6*	東海コンクリート工業(株)	22,783	19,622	6.41%	↗	5.64%	→
7*	(株)日本ネットワークサポート	24,282	18,964	6.83%	↗	5.45%	↘
8*	中国高圧コンクリート工業(株)	17,207	17,997	4.84%	↗	5.18%	↗
9	日本高圧コンクリート(株)	17,056	16,815	4.80%	→	4.84%	→
10*	北海道コンクリート工業(株)	16,866	15,818	4.75%	↗	4.55%	→
その他	5社	18,378	16,682	5.17%		4.80%	
計(15社)		355,278	347,750	100.00%		100.00%	

(2014年度上半期)

ポール出荷シェア

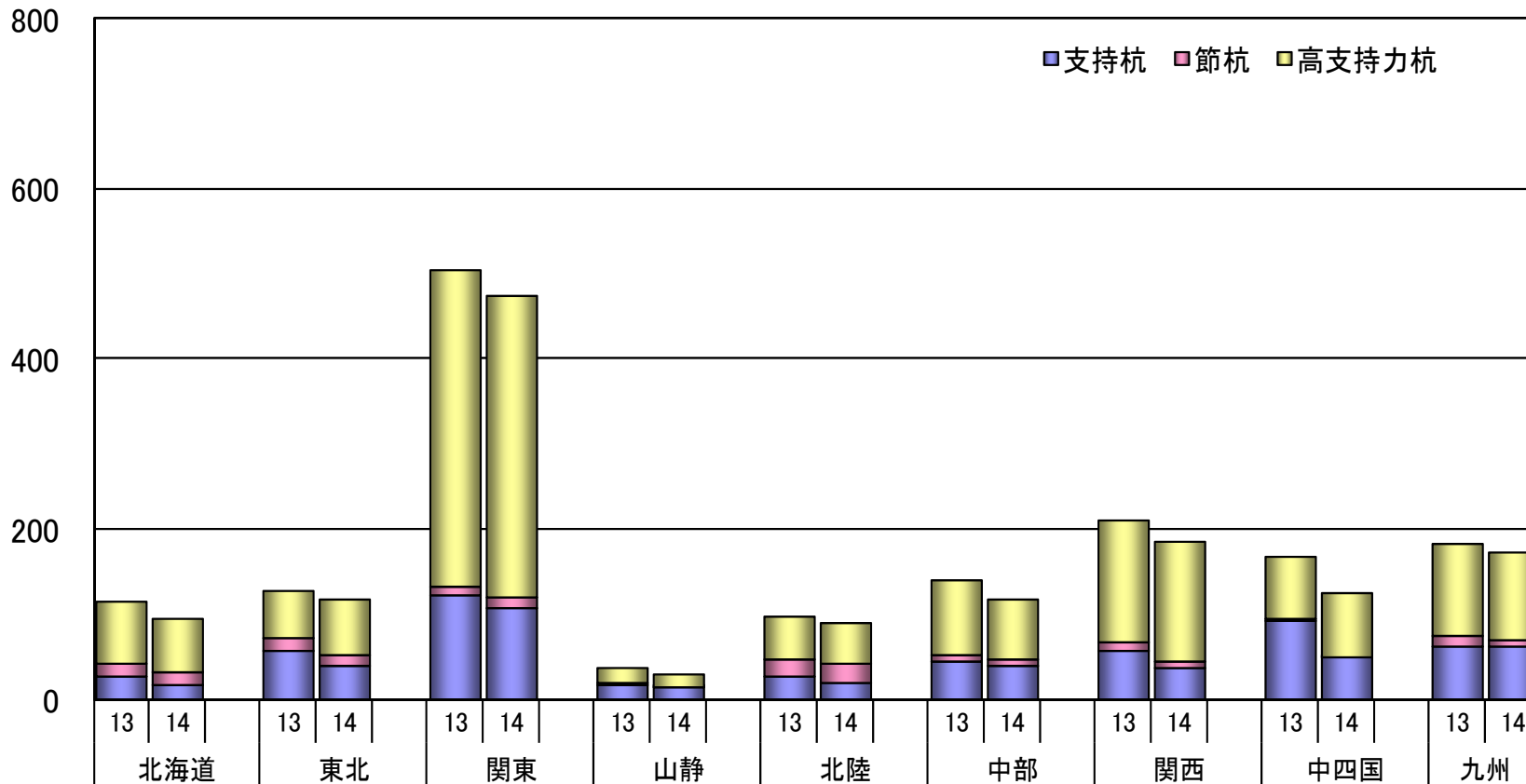


- 注) 1.順位に*印のついた会社は、NCグループ。
 2.前年同期比の→はシェアの変化が-0.3%~+0.3%
 3.(社)コンクリートポール・パイル協会資料による。

13年度・14年度地域別パイル需要

(全国)

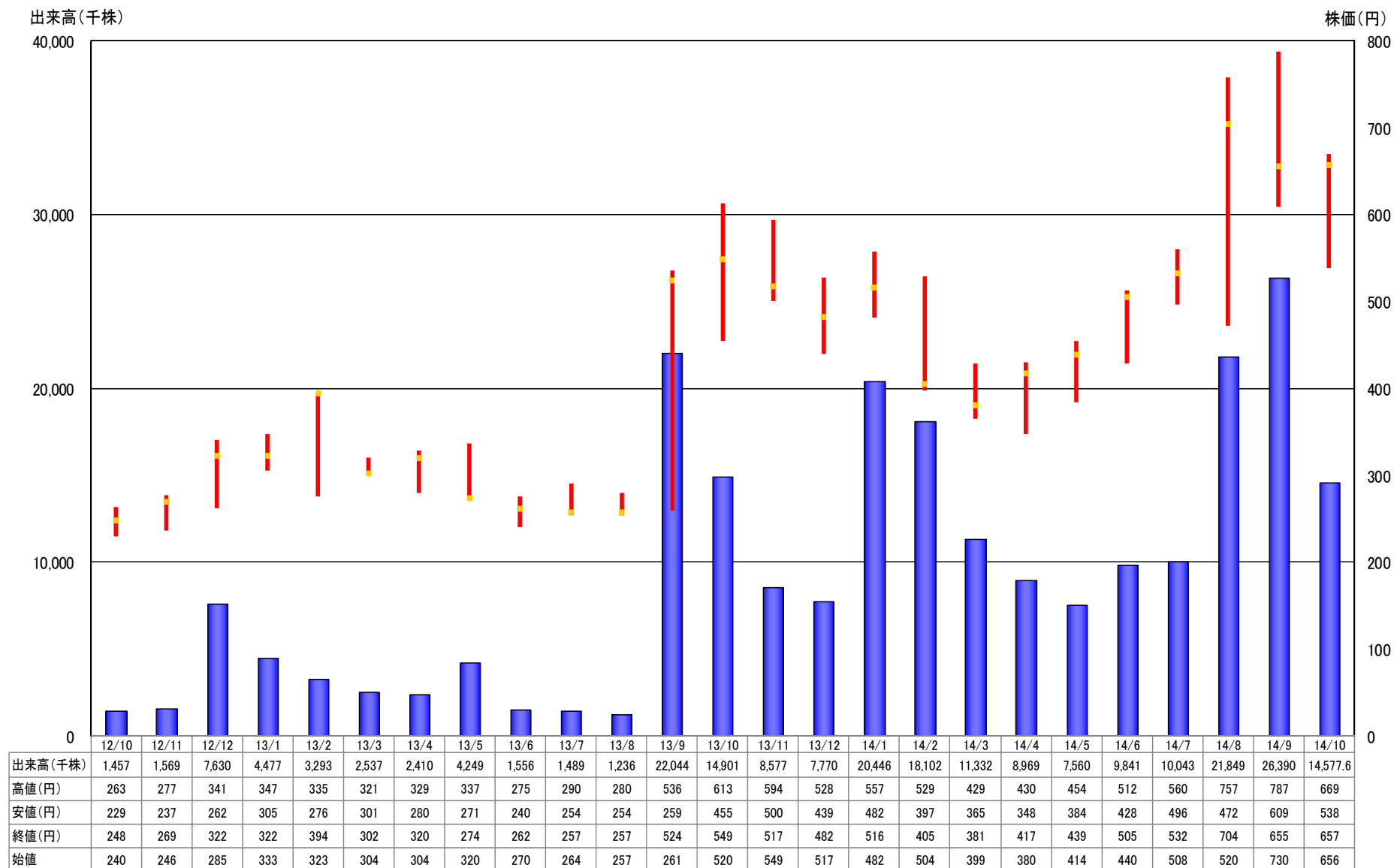
千トン



	13		14		13		14		13		14		13		14		13		14		13	14	増減率
	北海道		東北		関東		山静		北陸		中部		関西		中四国		九州		合計(千トン)				
■高支持力杭	73	64	55	67	372	353	17	14	51	49	88	70	142	142	72	75	108	103	978	938			-4.1%
■節杭	16	14	15	11	11	12	2	1	21	22	9	9	11	8	3	1	13	8	101	86			-14.9%
■支持杭	28	19	59	41	123	109	18	15	27	21	45	40	58	37	94	50	64	64	516	396			-23.3%
計	117	97	129	118	506	474	37	31	99	92	142	119	211	187	169	126	185	175	1,595	1,420			-11.0%

(社)コンクリートホール・パイル協会資料による

株価・出来高の推移





会社基本情報

会社基本情報

- ◆ 会社概要 P28
- ◆ 経営理念 P29
- ◆ 事業内容 P30

会 社 概 要

- ◆ 商 号 日本コンクリート工業株式会社
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.
- ◆ 設 立 1948年(昭和23年)8月5日
- ◆ 代 表 代表取締役社長 網谷 勝彦
- ◆ 本 社 〒108-0023
東京都港区芝浦四丁目6番14号 NC芝浦ビル
- ◆ 上 場 取 引 所 東京証券取引所市場第一部 証券コード5269
(1967年(昭和42年)10月)
- ◆ 資 本 金 5,111百万円
- ◆ 大 株 主 新日鐵住金(株)、太平洋セメント(株)、日本電設工業(株)
- ◆ 事 業 内 容 コンクリートポール、コンクリートパイルおよびプレキャスト製
品の製造、販売ならびに施工
- ◆ 品質マネジメントシステム ISO9001認証取得(2000年6月)
- ◆ 従 業 員 数 830名(2014年9月末現在 当社グループ)
- ◆ 日 コ ン グ ル ー プ 当社の子会社で、製造、施工、販売、物流、サービスを事業と
する18社で構成
- ◆ NC グ ル ー プ コンクリートポール・パイルの製造技術(当社の技術供与)を核
とするグループ13社(29工場)で全国をネット

経営理念 (2013年5月 改定)

経営理念

日コングループは
「コンクリートを通して、
安心・安全で豊かな社会づくりに貢献する」
ために存在します

行動理念

私たちは、

1. お客様を大切に、社員の働き甲斐と幸せの実現を目指します
2. コンクリートでお客様に感動を与える高い技術力を保持し、品質至上を目指します
3. 適正利潤を確保し、企業価値を高め、株主の信頼と社員の幸福を目指します
4. 私たち社員は
 - ・熱きチャレンジの心を持っております
 - ・常に自己革新を目指します
 - ・失敗を責めず、失敗から学びます
 - ・社内外での挨拶を励行します

事業内容

■コンクリートポール



配電線路、通信線路、電車線路、防球ネット、照明、アンテナ等の支持物

■コンクリートパイプ



さまざまな施工ニーズに対応した基礎杭

- ・PHCパイプ ・PRCパイプ ・SCパイプ
- ・RSCパイプ ・RSCPパイプ

なお、PHCパイプには、外観形状が異なる節杭、HBパイプ、HMパイプなどがあります。

■超高強度繊維補強コンクリート(UFC)



水路、橋脚、トンネル等の補修、建物の耐震補強に使用される耐久性、耐摩耗性、耐塩害性等に優れた超高強度のコンクリート材料

■Hyper-NAKSⅡ工法(高支持力杭工法)

従来のHyper-NAKS工法をさらに進化させ、地盤支持力をより大きくした中掘り系高支持力工法

■Hyper-MEGA工法(高支持力杭工法)

先端部に超高強度の節付き杭を用いるプレボーリング系高支持力工法

■Hyper-ストレート工法(高支持力杭工法)

全掘削工程が同径のストレート掘削工法で、高支持力を得るための専用下杭を使わず、標準の既製コンクリート杭を使用するシンプルなプレボーリング系高支持力工法

■H・B・M工法

HBパイプ(溝付き拡底杭)を使用し、球根部の軸力と摩擦支持力を確実に発揮するプレボーリング系高支持力工法

■PC-壁体



高剛性な土留構造物用等辺角型コンクリートパイプ
(仮設なしで自立式の擁壁や護岸を急速築造)

■コンクリートセグメント



シールドトンネル用RCセグメント(高流動セグメントは高品質・低価格)

■プレキャストコンクリート製品



地中配電線路材(マンホール、ハンドホール、SAYAKAn)、土木部材(親杭パネル、NJ軽量高欄)

■剛体多孔質吸音材ポアセル



世界最軽量の気泡コンクリートで、気泡が各々連孔した構造であり他に類をみない吸音性能と耐久性を有する無機質の吸音材

■RODEX工法

特殊なロッドにより地盤を攪拌掘削し、その掘削孔に杭を回転埋設するプレボーリング拡大根固め工法

■NCコラム工法

地盤中に柱状の改良体を築造する地盤改良工法

生産・営業拠点

■ 生産拠点 13カ所

- | | |
|--------------------|------------------|
| ・ 川島工場 (茨城県) ポ・パ・土 | ・ 直方工場 (福岡県) ポ・パ |
| ・ 鈴鹿工場 (三重県) ポ | ・ 和気工場 (岡山県) パ |
| ・ 古河工場 (茨城県) パ | ・ 笠岡工場 (岡山県) パ |
| ・ 高砂工場 (兵庫県) ポ・パ | ・ 板倉工場 (群馬県) 土 |
| ・ 滋賀工場 (滋賀県) パ | ・ 結城工場 (茨城県) 他 |
| ・ 小松工場 (愛媛県) ポ・パ | ・ 岡山工場 (岡山県) 建 |
| ・ 四日市工場 (三重県) パ | |

注) ポ:ポール
 パ:パール
 土:土木製品
 建:建築製品
 他:その他



■ 営業拠点 12カ所

- | | |
|---------|----------|
| ○ 本 社 | ・ 茨城営業所 |
| ○ 大阪支店 | ・ 岡山営業所 |
| | ・ 広島営業所 |
| ○ 名古屋支店 | ・ 四日市営業所 |
| ○ 福岡支店 | ・ 筑豊営業所 |
| | ・ 熊本営業所 |
| ○ 四国支店 | ・ 小松営業所 |

■ ご注意

この資料に記載されている業績予想等は、本資料作成時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の結果は、今後様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります、いかなる確約や保証を行うものではありません。

■ 問合せ先

日本コンクリート工業株式会社
社長室 株式・IRグループ

TEL: 03-3452-1025

FAX: 03-3452-1121

E-mail: ir@star.ncic.co.jp